



宇津木台 森遊会 「定例活動」

第4回 実施報告

No.2011-04

実施日	2011年9月25日(日曜日) 10:00~16:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 10名(男性6、女性4) 後藤、衣川、鈴木(健)、神宮、北澤、諸岡、 中田(直)、中田(美)、腰越、秋田 インストラクター: 金森		

実施内容

初年度全10回活動の第4回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。

猛暑がおさまり過ごしやすくなったためか参加者は多めで水辺の大工事を完了することができ、満足感が味わえた一日となった。実質3時間でここまで完成度の高い活動は他に見たことはない。

秋とはいえ蚊取り線香と日焼け対策は必要、途中の草が生い茂る歩道は集合前に歩ける程度に刈っておいた。植生調査地と椎茸のホダ木を観察し台風の影響がなかったことを確認する。但し、椎茸は来秋収穫してもセシウムが心配されるので食べることはできないことをメンバーに伝える、ちょっと残念。

ストレッチの後、伐っておいた丸太の椅子を運ぶ、合計14席になった。水辺に移動し付近で台風のため根から倒れたコナラを観察する、大木にもかかわらず根は貧弱でこの森の問題が良く理解できる。

予め作成した水辺のイメージを共有化したうえで作業にとりかかる、まずは全員でアオキなどの除伐、その後3つの班(泥をかき出す、除伐した枝葉を運ぶ、柵を設置する)に分かれて黙々と作業する。

動くとき汗が出るので水分を取りながら進める(真夏にこの作業は無理と確信)。昼食に温めたおでんをいただき元気が出たところで午後は班編成を代えながら15時半には全ての作業と片付けを終える。

おおよそイメージ通りになった水辺を満足気に暫し眺めて集合写真を撮り16時に現地を後にする。泥だらけにはなったが、水辺の動植物はこれからどう変化してゆくのか?観察の楽しみができた。



無残に倒れたコナラの巨木



水辺上部の整備前、どこが水辺?→3時間後の整備後



立派な柵が30m完成



泥の中での決死の作業



ため池を2か所作る



お疲れさまでした



ボランティア袋を指定場所へ

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大2・小2を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・会の看板設置場所、植樹(投棄目的)の扱い、次回の活動内容について昼食時に話し合う。